

上田地域産業展の背景経過

経過変遷

昭和56年～昭和62年	「第1回躍進する上田の工業展」
平成元年～平成2年	「うえだ大産業フェア」
平成3年～平成15年	「ウエダ・ピア」
平成16年～平成20年	「上田地域総合産業展」にリニューアル
平成17年	上田市・坂城町が連携
平成18年	上田市・東御市・坂城町が連携
平成20年	上田市・東御市・坂城町・長和町・青木村が連携
平成21年～	「上田地域産業展」名称変更

当初は、躍進する上田の工業があまり知られていなかった事から、「もっとPRしていくべき」という商工会議所工業委員会での意見が多く、市民や学校関係者にも認識を深めてもらうために開催。(昭和56年～平成2年)

ウエダ・ピアとなつてからは、真田まつりとの併催、JAやジェットロ菓子組合との共催、姉妹都市との物産展と祭的な色合いを取り入れた事により、お祭りのイベント色が強くなる(平成3年～平成15年)

地場産業の強みを再認識し、交流、情報交換、学習、ビジネスチャンスの場として活用すると共に、産・学・食のアピールポイントを柱とした情報発信により、広く産業の振興を図ることを目的とし、「上田地域総合産業展」に名称変更しリニューアルしました。(平成16年～平成19年)

更に広域連携を推進するため、長和町、青木村との連携を進め、次代を担う子ども達に対し、地域の優れた産業や技術・製品の情報発信と共にものづくりへの興味関心を高めるため「ものづくり人材育成」の視点を取り入れました。(平成20年～現在)

なお、昭和56年からほぼ毎年開催され平成22年までに29回開催されている。